

信州大学知の森基金を活用したグローバル人材育成のための短期学生海外派遣プログラム
実施状況および成果

プログラム名	夏期海外研修オーストラリア・カーティン大学(Curtin University)夏期 海外単位認定プログラム		
学部・研究科名	医学部		
実施期間	H26年8月9日～H26年8月29日		
研修先(国・都市・施設名)	オーストラリア・パース・カーティン大学		
参加学生数	： 17名	知の森基金からの支援者	： 3名
プログラム概要	信州大学医学部保健学科全専攻、全学年(看護学、検査技術科学、作業療法学、理学療法学)学生が、同様の専攻を有するオーストラリア(パース)、カーティン大学で学べるように、平成12年から夏期休業中、短期留学(3週間)の機会を設けている。 短期留学中は、医療コミュニケーション英語を中心とした英会話力の育成プログラムに加え、各専攻の講義・実習に学際的に参加し、オーストラリアの医療専門教育を体験している。また、各種病院、医療機関や福祉施設などの見学もコースワークに含まれている。 現地での滞在は、学生1～2名ずつのホームステイとなっている。このことにより現地での生活を体験しながら自ら英語を活用する機会を増やしている。また、ホストファミリー、カーティン大学学生やパース市民との交流や異文化体験により、今後の学生生活や将来のキャリア形成に向けてグローバルな視点を持つ機会となっている。		

実施状況・成果

カーティン大学では語学学習以外に、カーティン大学における医学専門教育体験とパース市内の病院や福祉関連施設の見学が計画されていた。その理由は国際的視野をもつ医療人育成を大きな目標にしているからである。プログラムではこのような目的のために、いくつかの目標を立て企画されていた。3週間であったがたくさんの経験をする事ができたと感じている。

目標1)国際的医療人育成のための語学研修(カーティン・イングリッシュ・コース)

- a. 一般英会話
- b. 医療関連の専門用語学習

目標2)海外との人的交流

- a. ホームステイによるホストファミリーとの交流
- b. カーティン大学学生との交流
- c. 海外からの語学研修学生との交流

目標3)医療専門教育および海外医療への理解

- a. カーティン大学の専門講義の聴講と実習への参加
- b. 病院および福祉施設の見学

この研修によって海外を身近なものとして感じる事ができるようになった。例えば、研修前は、海外に対して様々な不安を感じていたが、その不安の多くが乗り越えられるものであることを学んだ。

また、ホームステイ先のホストファミリーやカーティン大学学生との交流を通して、文化の相互理解とともに非常に身近な存在としてオーストラリアの人々と交流する事ができたことは大きな喜びであった。

日本の英語教育の問題点として、英語学習の時間が長い割に実際の会話ができない学生が多いことが指摘されている。今回の研修によって未熟な英語ながら様々な場面でオーストラリアの人々と会話し、交流できたことは大きな自信となった。これは英語授業では得られない経験であった。

オーストラリアの保健医療教育の体験学習と医療施設の見学によって、日本との共通性とともに違いを強く意識することになった。ひるがえって、日本の教育や医療に対して深く考える機会を得たように思う。

この研修は国際的医療人を育成するための導入部分として計画されていたが、この目標はある程度達成されたのではないかと考える。ただ、さらなる語学学習が必要であることを強く感じた。また、機会があれば海外で仕事をしてみたいとも思った。

学生の声①-医学部・保健学科 学生

3週間という短い期間ではありましたが、今回の短期海外研修プログラムへの参加は、私にとって、とても実りあるものとなりました。一般に行われている語学研修だけでなく、現地の専門科目の授業へ参加したり医療関係施設を見学したりすることにより、日頃の大学生活や日本国内ではできない掛け替えのない経験をする事ができたと思います。ここでしか得られない気づきが数えきれないほどたくさんありました。

学生の声②-医学部・保健学科 学生

Curtin 大学での約3週間の短期留学を通して、多くの貴重な経験を得ることが出来ました。最初は英語がなかなか聞き取れず、言いたいこともうまく伝えられずもどかしい思いをしましたが、毎日英語を聞いて過ごしていくなかで少しずつ聞き取れるようになっていきました。ホストマザーは私の英語力が少しでも上達するようにと毎日コミュニケーションをとるようにしてくれ、ほぼ毎日一緒にテレビを見て少し聞き取ることが難しいところなどを説明してくれたので、現地の人が普通に話している速さの英語も理解できるようになっていきました。ホストファミリーと一緒に暮らしていて一番大事だと思ったことは、積極的にコミュニケーションをし、明るくポジティブに何でも挑戦してやるぞという気持ちでいることだと思いました。笑顔でいることもホストファミリーと良い関係を築くためにはとても大事なことだと感じました。

最終日集合写真

